

SCAN北海道学生研究会 合同研究発表会

『 総合型地域スポーツクラブの 効果的な運営方法について 』

～子どもの多種目参加が体力向上に及ぼす影響について～



学校法人 産業技術学園

北海道メディカル・スポーツ専門学校

スポーツ学科 スポーツトレーナーコース

加賀 雅之 岡田 しほ 高橋 憂至 竹内彪真 水野 尚輝

背景

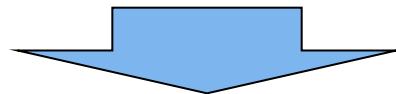
現在、子どもの体力低下とスポーツ活動の減少が社会全体で問題視されている。そこで、文部科学省が地域でのスポーツ活動を活性化させるため、「総合型地域スポーツクラブ」を推進している。

スポーツの課題

- 学校・企業によるスポーツ振興の限界
- 子どもの運動能力・体力低下
- 年齢・種目が限定されたスポーツの場
- スポーツ人口の減少 等

地域の課題

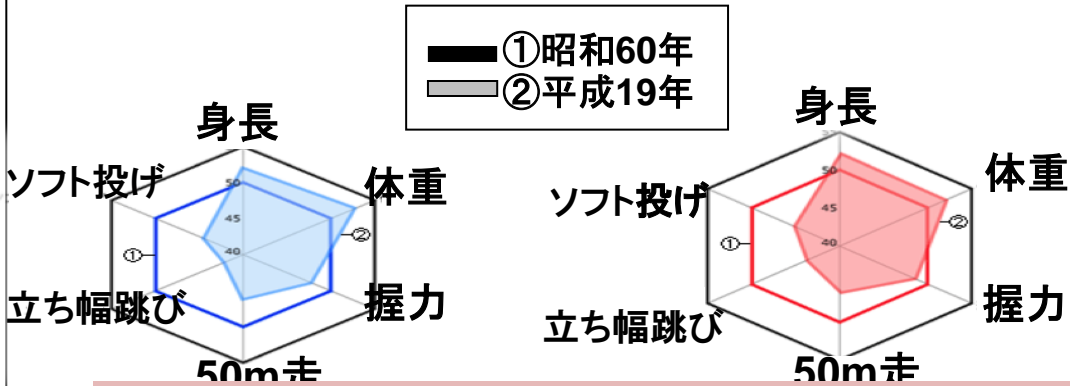
- 地域連帯意識の希薄化
- 青少年の問題行動
- 地域教育力の低下
- 子どもたちの遊び場の減少 等



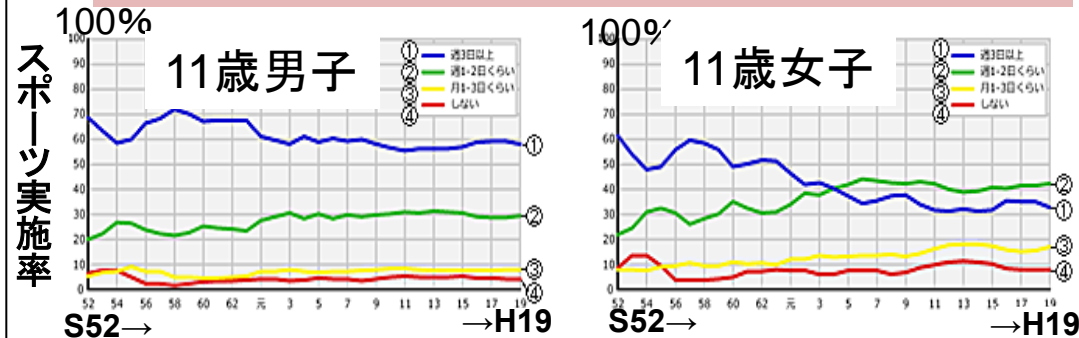
「総合型地域スポーツクラブ設立」で改善

地域スポーツの現状

『子どもの体力』と『スポーツ実施率』の変化



体格は向上しているが体力は低下



スポーツ実施が減少

- × 塾やゲームの普及
 - × 公園での制限や遊具減少
 - × 治安の悪化
- など **環境の変化** が原因か

現在の地域スポーツ実施方法

環境の変化→実施方法の変化

少年団・クラブ

民間・行政の施設利用

たくさんの種目ではお金がかかる
送迎が大変

指導者がいない
安全性を確保できない

現存する一種目主義

教えすぎ・やりすぎ
オーバーワークやスポーツ障害
バーンアウト(燃え尽き症候群)

- × 施設不足
- × チーム不足
- × 指導者不足
- × 時間の不足

総合型地域スポーツクラブ

『ひとつの地域クラブで事が足りる』システム(文部科学省)

多項目

- 自分のやりたい種目に
- 複数の種目に

多世代

- 幼児から高齢者まで
- 親子で、家族で、仲間と

多志向

- 自分が楽しめるレベルで
- 自分の目的に合わせて

~多種多様な事業展開~

定期活動

- スポーツ教室 等

不定期活動

- 指導者講習会
- スタッフ研修 等

交流事業

- 会員間の交流や地会域住民全体を対象としたイベント 等
- ニーズに応じたスポーツ指導
- 有資格指導者の配置 等

スポーツ振興基本計画(H18.9改定)

「2010年までに、全国の各市町村に少なくとも1つは総合型地域スポーツクラブを育成する」

《クラブ設立の効果》

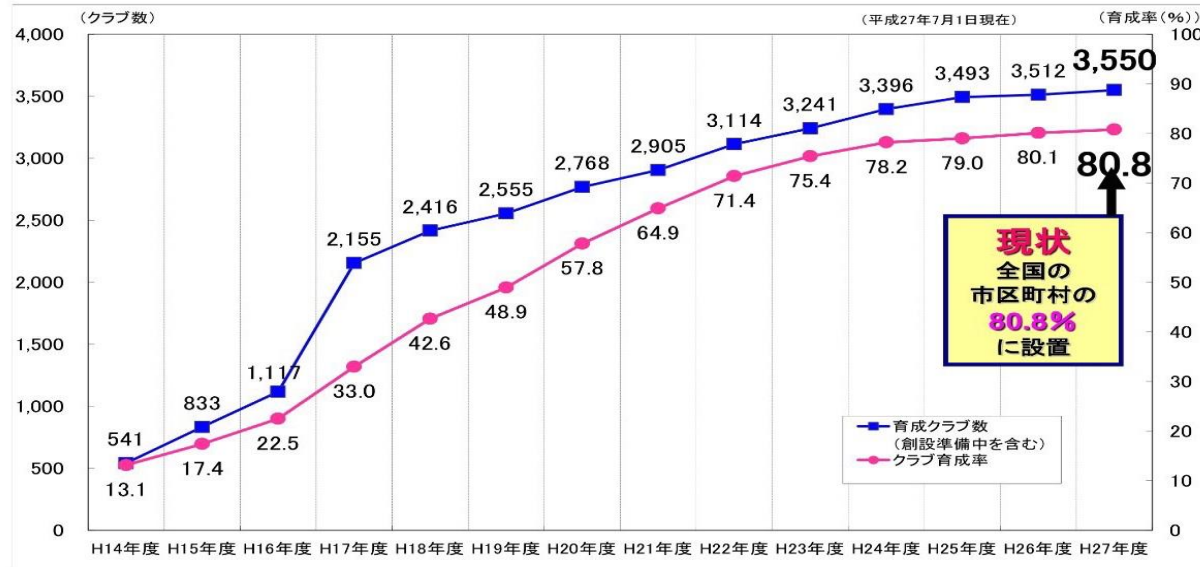
- ・世代を超えた交流が生まれた
- ・地域住民のスポーツ参加機会が増えた
- ・地域住民の交流が活性化した 等

将来は全国1万ヶ所の中学校区に!!

総合型地域スポーツクラブの設置状況、設置数、設置率

総合型地域スポーツクラブ設置状況

設置状況は年々向上
平成27年 **80.8%**



現状
全国の
市区町村の
80.8%
に設置

(注)総合型地域スポーツクラブ数については、創設準備中を含む

(出典)スポーツ庁「平成27年度総合型地域スポーツクラブ育成状況調査」

2

総合型地域スポーツクラブ設置数、設置率

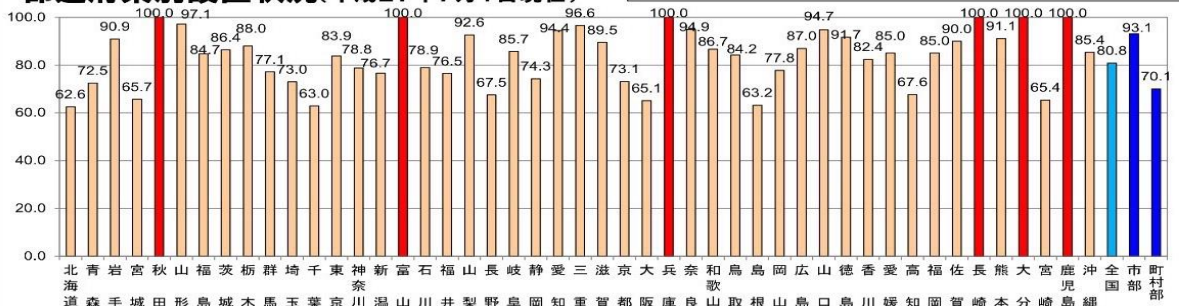
総合型地域スポーツクラブ数の推移(数値は各年度の7月1日現在)

年度	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
設置クラブ数 (創設済みクラブ+創設準備中クラブ)	1,117	2,155	2,416	2,555	2,768	2,905	3,114	3,241	3,396	3,493	3,512	3,550
クラブ設置市区町村(①)	702	783	786	894	1,046	1,167	1,249	1,318	1,362	1,377	1,394	1,407
全国市区町村数(②)	3,122	2,375	1,843	1,827	1,810	1,798	1,750	1,747	1,742	1,742	1,741	1,741
クラブ設置市区町村の割合 (①÷②×100(%))	22.5	33	42.6	48.9	57.8	64.9	71.4	75.4	78.2	79.0	80.1	80.8

北海道
市町村数 179
設置数 149
全体 **62.6%**(**最下位**)

都道府県別設置状況(平成27年7月1日現在)

総合型クラブ(創設準備中を含む)のある市区町村数/各都道府県の全市区町村数×100



(出典)スポーツ庁「平成27年度総合型地域スポーツクラブ育成状況調査」

3

恵庭市の現状と総合型地域スポーツクラブ

平成21年7月 市民アンケート

☆運動やスポーツの実施状況 58.5%

☆成人の方で週1回以上のスポーツ実施率 32.1%

平成23年2月 恵庭市スポーツ振興基本計画

生涯スポーツの振興

総合型地域スポーツクラブの創設支援
目標「最低1クラブ以上を創設する」

平成24年4月 北海道メディカルスポーツ専門学校 附帯
“jikeiスポーツクラブえにわ”設立

恵庭市で唯一の総合型地域スポーツクラブ

jikeiスポーツクラブえにわ

多
種
目

多
世
代

多
志
向

子ども教室
(3歳児～小学6年)

さまざまなイベント

大人向けフィットネス
(成人～高齢者)

サッカー教室



野球教室



陸上教室



たいく教室



イベント



イベント



イベント



健康体操



ダンスエアロ



あへあほウンドー



運動・スポーツを通して地域貢献すること

研究1

jikeiスポーツクラブえにわに参加する子どもの保護者を対象に調査を実施し、『総合型地域スポーツクラブ』がどの程度浸透しているか、またどのような目的で子どもを参加させているかを調査した。

○調査項目

『総合型地域スポーツクラブ』の認知度に関する項目

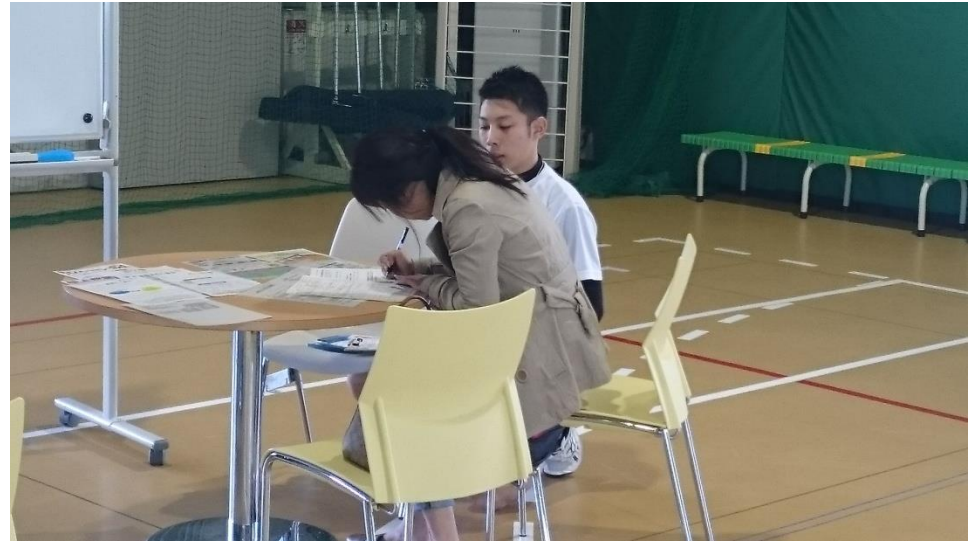
Jikeiスポーツクラブえにわに参加する理由・目的に関する項目

○時期

平成28年4月4日～7日

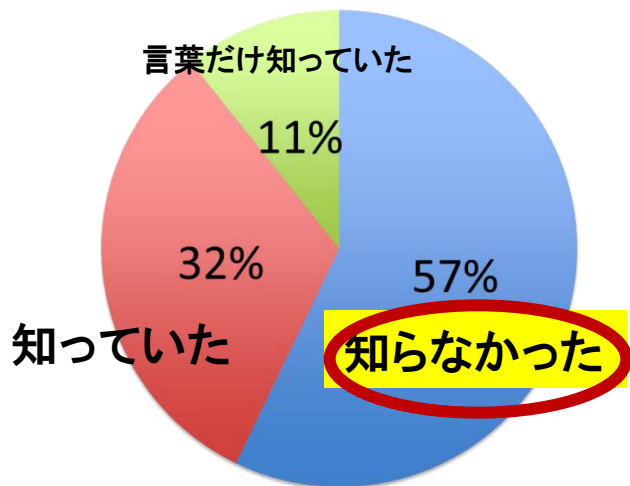
○対象

入会手続きに来た保護者(112名)



結果

「総合型地域スポーツクラブ」という
スポーツクラブを知っていましたか?(n=112)



Jikeiスポーツクラブに参加する理由・目的
※複数回答可(n=112)



保護者の大半が「総合型地域スポーツクラブ」を知らないと答えた。
このことから、参加者に対して「**総合型地域スポーツクラブの特色**」を伝える必要
があることがわかった。また、jikeiスポーツクラブえにわに参加する理由・目的の
項目に対する回答では「体力向上」が一番多かった。

以上のことを踏まえて、
「総合型地域スポーツクラブの特色」と「体力向上」を関連付ける事が出来れば
今後のスポーツクラブ運営に役立てることが出来ると考えた。

研究2

○目的

多種目に通うことが体力向上に影響を及ぼすかどうかを検討することを目的とした。

○方法

jikeiスポーツクラブえにわに参加する小学生を対象に、体力測定を4月、8月、12月の3回実施し、1種目のみに参加している子どもと、多種目に参加している子どもの測定結果を比較した。

体力測定と分析方法

内容：新体カテスト 5種目

(握力、長座体前屈、立ち幅跳び、反復横跳び、上体起こし)

場所：ハイテクアリーナ

対象：jikeiスポーツクラブたいいく教室に通う小学生

※1回目、2回目両方に参加した28名

(1回目 4月14日(木)17:00～ 全43名、 2回目 8月4日(木)17:00～ 全32名)



比較：5種目の合計点(各種目の記録を10点満点で得点化)

結果

対象年齢:7歳~12歳

たいいく教室のみに通う児童 13名

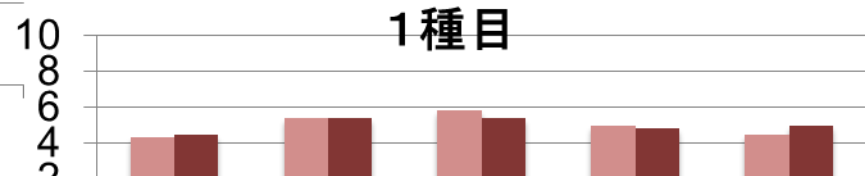
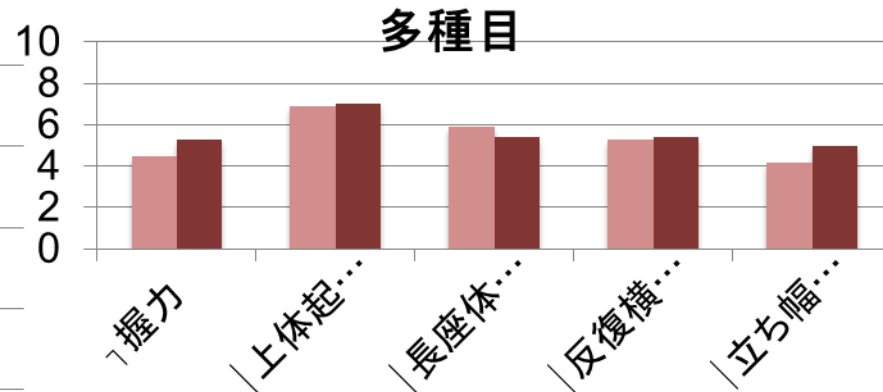
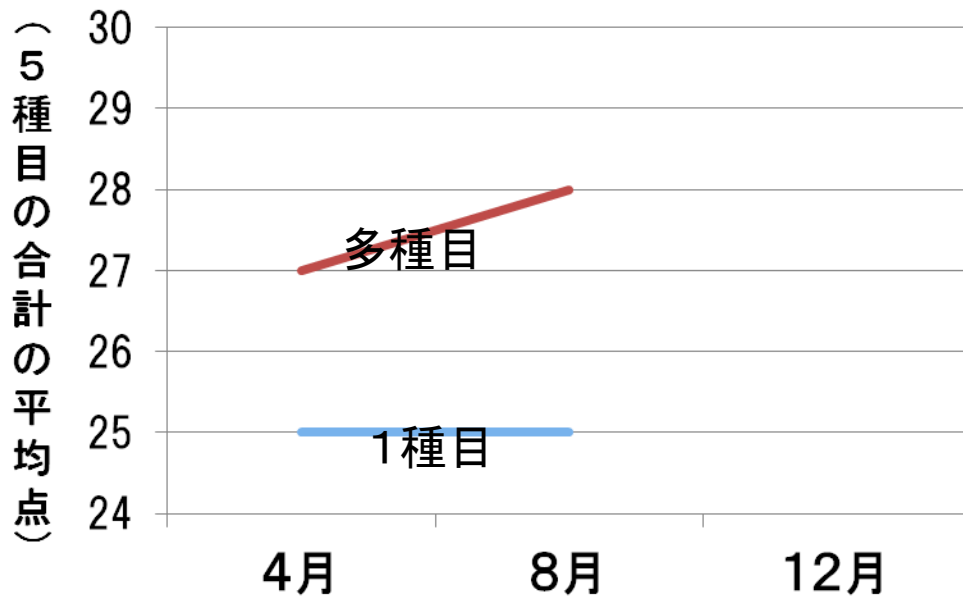
たいいく教室以外に通う児童 15名

前後差

多種目→4月~8月で向上が見られた

1種目→4月~8月で向上は見られない

体力測定結果



前後差で見ると多種目に通っている子どもは3ヶ月で体力向上が見られたため、多種目参加が体力向上に効果的であるという可能性が示唆された。

まとめ

本研究の成果として、調査で明らかとなった保護者のニーズである『体力向上』と、総合型地域スポーツクラブの特色である『多種目』を関連づけることができた。今後のクラブ運営に有益なデータとなった。

今後の課題

- 長期的に実施しさらにサンプル数を増やす
- 本データの成人への応用(対象の拡大)
- 能力や技術との関連 など

本研究にあたって、下記団体の協力を得て実施させて頂きました。

○調査実施 jikeiスポーツクラブえにわ 並びに クラブ会員・参加者の皆様

○資料作成 恵庭市教育委員会 教育部スポーツ課 ※現)保健福祉部健康スポーツ課

ご協力ありがとうございました。